

振興会報

第22号

R1.9.1

発行者

一般財団法人
福岡県学校安全振興会

〒812-0044 福岡市博多区千代1-2-4
福岡生活衛生食品会館3F
TEL092-641-8748 FAX092-292-8757
E-mail anshin-kyo-sai@eagle.ocn.ne.jp
HP http://f-anzen.or.jp

振興会報の発行にあたって

理事長 今富 英樹



会員の皆様には平素より本会の事業に温かいご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。皇位継承により「平成」から「令和」へ新時代が幕明けしました。

最近では50年に一度といわれる災害が毎年発生し、地球環境が確実に変わってきていることを実感させられます。皆様におかれましても防災意識を高め、早めの行動により自らの身を守る「自助」とともに、お互いが助け合う「共助」の実践に努めていただければと思います。

昨年度、本会から学校安全教育表彰を行った2校のうち、香椎高校は生徒保健委員会が自助共助の防災を学び、被災地でのボランティア活動などを通じて防災知識や地域支援についての実践力向上を図りました。また、三井高校は家庭クラブが地域の方々と共に防災活動を学び、九州北部豪雨に際しては聴覚障害者や外国の方の意思伝達手段として「筆談ボード」を届けるなど、地域の防災力向上に努めました。両校の素晴らしい活動に敬意を表します。

さて、平成30年度に皆様にお支払いした共済金は、1,375件、34,567,500円で、件数、金額ともに依然高いレベルで推移しております。事故の内訳をみますと、1事故当たりの支給金額が増加しており、けがの重症化、長期化の傾向が顕著

にうかがえます。皆様におかれましては引き続き事故の未然防止に努めていただければ幸いです。

本会は、大きな課題であります「事故の増加と生徒数減少による収支バランスの悪化」に対応するため、管理経費等の削減、私学の勧誘、事故防止の啓発に努めてまいりました。

本年度、「(独)日本スポーツ振興センター」が会費値上げとともに、死亡及び障害給付金の増額を行いました。これにより、センターの給付に上乘せする形で共済金を支給している本会の共済金も必然的に増えることとなります。それに加え、10月から消費税が引き上げられる見込みで、本会の財務状況の更なる悪化が懸念されるところとなりました。

このような状況に対応するため、会費値上げを行わず治療共済金の支給比率を令和2年度から引き下げる方向で、行政庁(県教育委員会)と調整に入ることといたしました。会員の皆様にご負担をかけず、収支相当の原則と財務の健全性を維持するための変更とご理解を頂き、ご協力をお願いいたします。

本会は今後も、学校管理下における生徒の災害に対する共済事業を柱に、PTA活動中における保護者の災害に対する共済事業、安全や健康に関する実践・普及活動に対する助成事業や表彰事業などを積極的に推進してまいります。

引き続き皆様の温かいご理解とご協力をお願い申し上げます。

学校紹介



福岡県立 鞍手高等学校



校訓「質実剛健」「自学自習」

校是「たくましく前進者たれ」

★文部科学省指定 SSH・SGH
両指定を受けているのは、九州では本校だけ!



★遠隔授業システムを活用した授業開発
アメリカの技術者に向けて課題研究内容を発表し、指導や講義を受けます。



★交通安全教室
警察等から講師を招へいし、全校生徒を対象に実施します。



★英語イマージョン授業(世界史の授業)
英語以外の授業をEASと英語で行い、英語力と各教科の理解力を深めます。



★普通科人間文科コース海外研修
マレーシア・シンガポールを訪れ、現地の学生と交流しながら見識を深めていきます。

■ 平成30年度 決算と事業の概況 ■

I 事業概況

1 共済金事業

平成30年度の共済金支給金額および内訳は、以下のとおりです。

・支給額

共済金区分	件数	支給額(円)
治療	1,357	28,257,500
障害	5	5,900,000
保護者入・通院	3	110,000
合計	1,365	34,267,500

・障害共済金支給内訳（生徒等）

発生場所	障害原因	支給額(円)
運動場	サッカーの練習中、キーパーがボールを弾いた際、右小指を突き、他の選手からも、同じ小指を蹴られ骨折、障害が残る。	700,000
運動場	野球の練習試合時、送球が逸れ腹部にあたり、その後緊急搬送、術後も傷害が残る。	1,450,000
運動場	野球の練習中、ボールが右目と顔面を直撃し手術。その後も障害が残る。	700,000
運動場	ソフトボールの練習中、ボールが右目を直撃。その後目に障害が残る。	2,000,000
球技場	卓球の練習中、左足関節負傷。その後障害が残る。	1,050,000

・保護者支給内訳

発生時の行事	災害原因（活動内容等）	支給額(円)
PTA親睦ソフトバレーボール大会	PTAソフトバレーボール大会前ウォーミングアップ中、左足アキレス腱断裂。入院。	50,000
	（上記と同一） 退院後、リハビリのため通院。	10,000
体育大会	保護者参加リレーに出場、左足アキレス腱断裂。入院。	50,000

2 調査研究事業

- 生徒実践活動及びテーマ
 - 福岡県立直方高等学校 「たくましい直高生の育成!!」～学ぶ! 身に付ける! 伝える!～
PTA指導者研修会にて活動発表 (R1.10.25)
- 第6回全国高等学校等安全互助会連絡協議会 総会及び研究大会（静岡）
平成30年10月5日 静岡県アパホテル富士中央

3 普及充実事業

- 安全普及充実事業
 - 健康用品の寄贈
非接触型体温計…1台
手首式血圧計…1台] 全加入136団体
 - 「新任事務長および事務担当者説明会」
平成31年4月17日 会場：本会館5階大会議室
学校の新任事務長及び共済事務担当者へ事業内容及び共済事務取扱い留意点等を説明

(2) 広報事業

- 「振興会報」H30.09.01発行（全会員）
事業・決算報告、事業計画・予算等
- 「加入のご案内」H31.03.01発行（新入生会員）
本会の趣旨・活動等を紹介
- 「振興会だより」H31.03.01発行（在校生全員）
本年度の事業進捗状況、健康・安全情報提供
- 「共済概要」H31.03.01発行（全会員）
共済事業の概要及び請求方法を紹介

4 助成事業

- PTA役員等研修助成
 - 福岡県公立高等学校PTA指導者研修会
平成30年8月3日 会場：福岡リーセントホテル
 - 県高P連4地区（北九州・福岡・筑後・筑豊）研修会
平成30年10月～11月 会場：4地区各会場
- 団体活動助成（以下、4団体へ）
 - 福岡県高等学校保健会
 - 福岡県高等学校給食研究協議会
 - 福岡県立学校等生徒指導主事研究協議会
 - 福岡県高等学校野球連盟
- 表彰事業
 - 福岡県立香椎高等学校「学校保健委員会」
 - 福岡県立三井高等学校「家庭クラブ」

5 供花料給付事業

10件 300,000円給付（生徒等 1件30,000円）

II 決算（一般会計） （単位：千円）

収入の部		支出の部	
基本財産運用収入	2,204	事業費	84,791
特定資産運用収入	1,863	（うち共済金給付費34,267）	
会費収入	64,354	管理費	5,131
雑収入	1		
当期収入合計	68,422	当期支出合計	89,922
備金戻入	29,812	次期繰越金差額	8,312
収入合計	98,234	支出合計	98,234

III 役員会（理事・監事）評議員会開催

	開催日・回	協議事項
役員会	第1回 H30.7.26	普及充実事業及び調査研究団体・助成団体の選定、共済規程、内部諸規程変更（案）
	臨時 H30.9.25	保護者等共済金支給基準及び条件見直しについて
	第2回 H30.12.7	学校安全表彰団体の選定について 臨時評議員会の招集について
	臨時 H31.1.11	死亡・後遺障害・治療共済金の見直しについて 第63回九高P連福岡大会の後援・協賛について
	第3回 H31.2.12	平成31年度事業計画・予算（案）について 臨時評議員会の招集について
評議員会	第4回 R1.5.22	平成30年度事業・決算・監査報告 平成31年・令和元年度各事業の取組について他
	臨時 H31.2.25	平成31年度事業計画・予算（案）について
	定時 R1.6.12	平成30年度事業・決算・監査報告、令和元年度各事業の取組、役員等の選定他

令和元年度 予算と主な事業

令和元年度役員

理事

理事長：今富 英樹

副理事長：高田 毅 常務理事：平野 孝幸
 桑原 利治 一木 栄子 谷延 ひろみ

監事

大澤 俊朗 松岡 優子 永尾 秀樹 金子 政彦

評議員

中島 克美 高島 孝一 幾竹 浩子 山田 好
 馬場 美穂 松下 志保 後藤富士恵 箱崎 辰彦

II 予算（一般会計）

（単位：千円）

収入の部		支出の部	
基本財産運用収入	2,200	事業費	90,700
特定資産運用収入	2,000	（うち共済金給付費50,000）	
会費収入	63,811	管理費	24,500
雑収入	1	当期支出合計	115,200
当期収入合計	68,012	次期繰越金差額	-17088
備金戻入	30,100	支出合計	98,112
収入合計	98,112		

III 行事予定

I 令和元年度事業計画

事業名	目的	内容
1 共済事業	生徒、保護者等の災害等を補償する	①生徒等の災害に対し、(死亡・治療・障害)共済金支給 ②保護者等(教職員及びPTA等活動を支援する者)がPTA等活動中の災害に対し、(死亡・入院・通院)共済金支給
2 調査研究事業	生徒等の健康、安全及び健全育成等に関する調査研究に対し助成を行う	○安全に関する調査研究(紀要発行)・発表に費用助成 ○他県における安全教育振興会活動の情報収集
3 普及充実事業	生徒等の健康、安全及び健全育成等に関する普及充実と、広報活動を行う	○安全普及充実事業 ・加入団体(学校)へ「健康用品」寄贈 ○広報事業 ・「共済概要」「加入のご案内」「会報」等の発行 ・学校担当者向け「共済事務取扱説明会」実施
4 助成事業	教育関係団体の行う安全・健康教育及び健全育成等に関する実践活動に対し助成を行う	○県高P連(指導者研修会や地区研修会)助成 ○関係諸団体(申請団体を審査後)助成
5 供花料給付事業	供花料を給付する	○生徒等が死亡した場合(事由のいかんを問わず)給付

令和元年	4月17日	新任事務長および事務担当者説明会
	5月10日	内部業務監査(監事)
	5月17日	外部会計監査(公認会計士)
	5月22日	第4回役員会
	6月7日	PTA等共済事務担当者会議(文部科学省)
	6月14日	定時評議員会
	7月8日	全国高等学校等安全互助会第1回役員会
	7月25日	第1回役員会、自主研修会
	8月26日	臨時評議員会
	9月1日	「振興会報」第22号発行
	10月予定	PTA共済事業立入監査(県教委)
	10月3～4日	第9回全国高等学校等安全互助会連絡協議会及び研究大会(北海道開催)
10月8日	臨時役員会・①コンプライアンス委員会	
11月1日	内部中間業務監査(監事)	
11月15日	外部中間会計監査(公認会計士)	
11月22日	全国高等学校等安全互助会連絡協議会研修会	
12月13日	第2回役員会・自主研修会(講師：弁護士)	
令和2年	1月10日	臨時役員会
	1月23日	臨時評議員会
	2月上旬	PTA等共済事務担当者会議(文部科学省)
	2月12日	第3回役員会・②コンプライアンス委員会
	2月25日	臨時評議員会
3月1日	「安全振興会だより・加入のご案内・共済概要」発行	

※毎月下旬に、共済支払い「月例監査」を実施

本会に関するご意見、ご要望・ご質問等ございましたら事務局までご連絡ください。また、ホームページも開設しております。ぜひ、ご覧ください。

<http://f-anzen.or.jp>

福岡県学校安全振興会

個人情報の利用目的について

個人情報の取扱いについては、この法人の「個人情報保護に関する基本方針」及び「個人情報管理規程」に従うものとします。いただいた個人情報に関連につきましては、共済契約の管理および審査、共済金の支払及びこの法人の事業ために使用され、それ以外に使用いたしません。



これまで毎年増加していた治療共済金の支給件数・金額は、昨年度はじめて減少しましたが、依然多数発生しており、会員生徒数の減少からすると支給状況は増加傾向にあるといえます。また、治療の長期化や同じ生徒が完治せぬまま異なる災害（ケガや疾病など）を負うなど、重症化傾向もみられます。「スポーツや学生生活ではケガは付き物!」では済ませられず、ケガが悪化して生活に支障が出てしまうケースも…

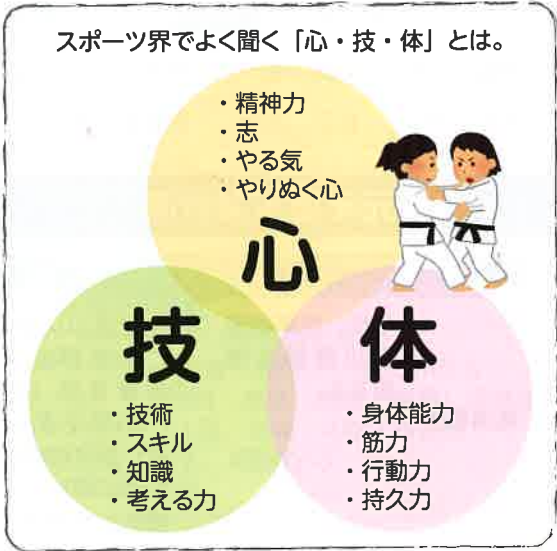
どうしてケガは減らないのでしょうか？

ケガをしない体をつくるにはどうしたらよいのでしょうか？

プロスポーツ選手や大会上位入賞者の体づくり

今年6月、福岡で行われた日本陸上競技選手権大会を観戦した際、とても印象的だったのが、出場前、入念に準備運動を行う選手たちの姿でした。運動前後のストレッチは、身体をほぐし衝撃を吸収するとともに、集中力を高める効果もあります。

ケガは選手生命を脅かす、大きな課題です。スポーツの技術を磨くだけでなく、基礎体力をつけ、心と体のバランスを整えることがより高いパフォーマンスの維持に繋がります。また、ケガなどの知識や対処法を知らなければ後遺症に苦しんだり、再発を繰り返すこととなります。



技術トレーニングよりも重要な体づくり

自分の体を知る



日常動作含め、人によって体の動かし方や可動域、重心の位置は異なります。自分にあった動きをしなければパフォーマンスの低下に繋がります、ケガの原因となってしまいます。

体力トレーニング



技術力アップのトレーニングでだけでなく、自分のレベルあった体力トレーニングを取り入れることが大切。体力の基盤がしっかりしていなければ高度な技術も身につけにくくなります。

疲労をためない



疲労回復には時間が必要です。疲れが蓄積したまま次のトレーニングを行うことは筋肉や靭帯に負担をかけ、ケガに繋がります。ときにしっかりと休息を取ることも重要なトレーニングです。

柔軟性を高める



可動域や運動能力にも大きな影響を与え、衝撃を吸収する柔軟性。体が硬いとケガをしやすくなります。普段からのストレッチで体をほぐし、運動時にはすぐに柔軟性を確保できるようにしましょう。

バランスのとれた食事

「主食」「主菜」「副菜」をそろえたバランスの良い食事が大事です。また、1日のエネルギーとなる朝食を抜くことも集中力の低下やケガに繋がります。その他…

- ・柔軟な体を育成する「卵」
- ・筋肉の働きを調整する「ミネラル」
- ・エネルギーの源となる「糖質」
- ・強い骨をつくる「カルシウム」

など、それぞれ栄養の役割を知り、バランスよく取り入れていきましょう。



質の良い睡眠

しっかり睡眠をとらないと身体も回復しないし、集中力も低下してケガに繋がります。



万が一ケガをした場合、その対処法は部位や程度によって異なります。①ケガをしないための体づくり②ケガをした時の対処法③早く回復するための対処法④再発を繰り返さないための方法など、正しい知識をしっかりと身に付け、理解し、行動することが大切となります。